

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 093	提案機関名 茅ヶ崎市漁業協同組合
<b>要望問題名</b> 漁獲対象種の減少とその対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 茅ヶ崎では、刺網の対象として、また地元遊漁船の釣り物としてシロギスやシタビラメが重要な対象種となっていた。しかし年々漁獲は減少し本年は全く獲れないという状態となっている。 そこで、水産資源状況の推移と近年シロギスやシタビラメの減少が著しい原因について調査して頂きたい。また、水温の上昇や激しい降雨による河川水の影響が著しい近年において、シロギス等に替わり刺網や遊漁船の対象種と成り得る対象種で、種苗放流効果が望める魚種があれば情報の提供をお願いいたします。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	相模湾試験場・栽培推進部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 新栽培対象種の放流技術開発研究、種苗量産試験、200海里内漁場資源調査、気候変動により資源が増大する暖海性魚類の活用			
<b>対応の内容等</b> 現在、茅ヶ崎市地先の海底において、底質や底生生物の調査を実施しており、魚類の生息環境や餌料環境に関する情報は養浜事業にかかる協議会等において提供しておりますので、引き続き、調査情報を提供してまいります。 また、シロギス等に替わり刺網や遊漁船の対象種と成り得る対象種で、種苗放流効果が望める魚種につきましては、マダイ・ヒラメ・サザエ等、過去の調査研究から適正な放流場所・時期・大きさ等が明らかになっており、効果的な放流方法を指導することが可能です。また、現在、当所ではトラフグとカサゴの栽培漁業に関する調査研究も行っており、これらの調査結果につきましても情報を提供してまいります。 これらの漁場環境、種苗放流に関する指導や情報提供を担当普及員と連携して協力していききたいと思います。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			